

主題：
新約正典の中のすばらしいキリスト

メッセージ 3

人・救い主であるキリストが肉体と成ったことは、神が人を創造した目的を成就した
聖書：創 1:26-27. ルカ 1:35. ヨハネ 1:1, 14. I テモテ 3:16

- I. わたしたちは神・人であるキリストを、人・救い主として認識するために、キリストが肉体と成ったことの内在的な意義を認識する必要があります——ルカ 1:35：
- A. キリストは肉体と成ったとき、無限の神を有限の人の中にもたらししました——ミカ 5:2. ヨハネ 8:58. ルカ 2:40, 52。
- B. キリストは肉体と成ったとき、肉体において現された神全体でした——I テモテ 3:16：
1. 彼は、単に御子として肉体において現されただけでなく、神全体、すなわち、父、子、霊としても現されました——マタイ 1:20. ルカ 1:35. ヨハネ 8:29。
 2. 神全体、すなわち、父、子、霊が、キリストの肉体と成ることにあずかりました——1:14. ルカ 1:35. ガラテヤ 4:4。
- C. キリストが肉体と成ったことは、三一の神と三部分から成る人との結合、ミングリング、合併でした——ルカ 1:35. ヨハネ 1:1, 14：
1. 「結合」は、命における一とかかわりがあります。「ミングリング」は、神性と人性と関係があります。「合併」は、パーソンが互いの中に相互内在することを意味します。
 2. キリストは肉体と成ったことを通して、神を人の中にもたらし、神と人を一にしました——14節。
 3. キリストが肉体と成ったことは、神性と人性とのミングリングでした——ルカ 1:35, 42-43。
 4. 人・救い主は、神・人として、神聖な本質を持つ聖霊から胎の中に入り、人の本質を持つ人の処女から生まれました——マタイ 1:20. ルカ 1:31, 35. ガラテヤ 4:4：
 - a. 聖霊が人の処女の胎の中に入られたことは、神聖な本質と人の本質とをもって達成されました。それは神性と人性とのミングリングを構成し、神・人を生み出しました。この方は神全体であり、また完全な人であって、神性と人性を区別して所有していますが、第三の性質が生み出されることはありません——ルカ 1:35。
 - b. これは、キリストが肉体と成ったことにおける、彼の最もすばらしく、最も卓越したパーソンです——イザヤ 9:6。
 5. キリストは肉体と成ったことにおいて、三一の神と三部分から成る人との合併でした——ヨハネ 14:10-11：

- a. 神は彼の神聖な三一において、一つの合併です。神聖な三一の三者は、互いに相互内在することによって、またひとりのように共に働くことによって、合併されて、一つの合併となっています—— 10-11 節。
 - b. 神聖な三一の第二は、肉体と成ったことにおいて、この合併を人性の中へともたらしめました—— 1:14。
6. 三一の神と三部分から成る人との結合、ミングリング、合併として、主イエスは三一の神・人です—— 14 節. コロサイ 2:9. I テモテ 3:16 :
- a. キリストは、神・人であるだけでなく、父・子・霊・人でもあります—— マタイ 1:20. ルカ 1:35. ヨハネ 8:29。
 - b. わたしたちが信じ、受け入れた救い主は、すばらしい三一の神・人です—— ルカ 2:11. 使徒 5:31. ペリピ 3:20。

II. 人・救い主であるキリストが肉体と成ったことは、神が人を創造した目的を成就しました——エペソ 1:9. 3:11. 創 1:26-27 :

- A. キリストが肉体と成ったことが、神が人を創造した目的と密接な関係があることを見るのは、大きなことです—— 啓 4:11. ヨハネ 1:14. ルカ 1:35。
- B. 神が彼のかたちに、彼の姿にしたがって人を創造した目的は、人が命としての彼を受け入れ、内容として、彼の属性において彼を表現することでした—— 創 1:26-27。
- C. 人が神のかたちに、神の姿にしたがって創造されたのは、神の複製となって、神を表現するためです :
 - 1. 創世記第 1 章 26 節から 27 節において、「かたち」は内側の存在を指しており、「姿」は外側の表現を指しています—— II コリント 4:4. コロサイ 1:15. ヘブル 1:3. ペリピ 2:7。
 - 2. 神のかたちは、彼の複製と関係があります。神が彼ご自身のかたちに人を創造した意図は、人が彼の複製になることです—— ローマ 8:29. ヘブル 2:10。
 - 3. 「かたち」は、人が神を受け入れ、彼を内容とする能力を持っていることを暗示します。神はご自身のかたちに人を創造して、人を彼の容器とさせました—— 創 2:7. II コリント 4:7。
 - 4. 「姿」は、外側の形、外側の様、外側の現れを指しています。こういうわけで、「姿」は表現の事柄です—— 創 1:26. ペリピ 2:7 :
 - a. 人が神のかたちに造られたのは、神の複製となるためです。また神の姿にしたがって造られたのは、神の現れを持ち、彼の表現となるためです。
 - b. かたちは、外側の表現の内側の実際です。姿は、かたちの表現、あるいは外側の現れです。
 - 5. 神のかたちは、神聖な属性と関係があります。特に、愛、光、義、聖と関係があります—— I ヨハネ 4:8, 16. 1:5. ローマ 3:21-22. ヘブル 12:10 :
 - a. 神が彼のかたちに人を創造したことの意味は、彼が人を創造して、人に彼の愛、光、義、聖を持つ能力を得させたということです。
 - b. 神によって創造された人性の美德は、神の属性を内容とする能力です—— ルカ 1:75。
- D. 第一の人であるアダムが神の目的において失敗したので、神が自ら、御子において、肉体と成ることを通してやって来て、第二の人となり、神の目的を成就しました。

- それは、人が神を内容とし、彼を表現するということです—— I コリント 15:47。
- E. ルカによる福音書は、この神・人についての啓示です。彼は、内容としての神聖な命によって満たされた人の生活を生き、こうして人性において神を表現しました—— 7:11-17, 36-50. 10:25-37. 19:1-10 :
1. 神聖な性質とその属性は、人・救い主の人の性質とその人性の美徳において表現されました。こういうわけで、主イエスの生活は、神であるが人であり、人であるが神である生活でした—— 1:26-35. 2:7-16, 34-35, 40, 52。
 2. わたしたちは、主がこのような方であることを認識する必要があります。すなわち、彼が生きた生活の中で、人性の美徳が神聖な属性を表現しました。